

青森県小学校教育研究会理科部会

会長挨拶

青森県小学校教育研究会理科部会長

青森市立千刈小学校長

池田 好明



平成 23 年に入ってから全国的に大雪に見舞われているようですが、当地青森市も例年になく大雪に見舞われています。しかしながら子ども達はいたって元気で大いに雪のある生活を楽しんでいます。ちなみに青森市の小学校の大半が、写真のように校庭にスロープを作り、各学年 10 時間程度のスキー学習と、市内のスキー場で行うスキー教室（学校行事）を 1～2 日間行っています。

さて、本県の小学校理科教育にかかわる組織は、県内を 10 の郡市に分け小学校教育研究会（小教研）を組織し、その中に各教科・領域部会を設けています。青森市を例にとれば「青森市小学校教育研究会理科部会」となります。そして、それぞれが独自に研究活動を行っています。

それらを統轄する組織として「青森県小学校教育研究会（県小研）」があり、主に、県レベル以上の研究大会の期日調整や、研究費の配分、各支部の活動状況の広報等を行っています。したがって、県大会などの企画運営は、実質的に担当する支部に任せられているのが現状です。なお、県小研の各部会長は慣例として青森市小教研の部会長が担当することになっています。



組織

青森県小学校教育研究会

会長 — 副会長 — 各支部長（青森） — 各支部部会長
（弘前） （9教科・道徳・特活・学校図書館・情報視聴覚）
（八戸） 外国語部会については検討中
（東） （有している支部もあり）

(つがる)
(南地方)
(北五)
(上北地方)
(下北)
(三戸)

※ 支部長及び支部部会長は理事となる

年間活動計画

挨拶で述べたとおり県としての活動はないので、青森市小学校教育研究会理科部会について記述します。

- 4月 市小教研総会及び理科部会総会
- 6月 第1回定例研修会（授業提案）
- 8月 夏季研修会（早稲田大学教授 露木和男先生を招聘）
- 8月 サイエンスアドベンチャー参加
- 9月 第2回定例研修会（授業提案）
- 10月 青森市児童理科研究発表大会主催
- 11月 青森県児童生徒理科研究発表大会参加
- 1月 冬季研修会（早稲田大学教授 露木和男先生を招聘）

研究内容

- 1) 研究主題 問いを持ち、追求していく理科教育
- 2) 研究目標

子どもが問いを持ち、自ら追求していく理科教育に向け、子ども達の思考の流れを想定した指導計画について研究するとともに、意味づけしながら予想する、比べて調べる、関係づけて考える、の3点に着目しながら、自然現象とのふれあいの中で、物事に対する認識を深めさせる授業のあり方はどうあればよいか、授業実践を通して明らかにする。

活動の様子

2回の授業研究会は、いずれも新内容にかかわる提案で、参加者も多く盛会でした。露木先生をお迎えしての夏・冬の研修会も露木先生の師範授業をはじめ、実践事例の発表・討議、夜の懇親会など楽しい中にも有意義な研究会でした。

児童理科研究発表大会は参加児童が20名とやや少なめではあったが中身の濃いものでした。